

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ハッピーテラスキッズ中野ルーム			
○保護者評価実施期間	2025年8月18日		～	2025年8月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	43	(回答者数)	40
○従業者評価実施期間	2025年12月17日		～	2024年12月29日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年1月8日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	【個々のニーズに合わせた柔軟な支援】	小集団活動では週ごとのテーマ設定を行ったり、今年度より新コース（運動）を追加したりするなど、活動内容が固定化しないよう工夫しています。また、祝日にはイベントを実施するなど、子どもたちの興味・関心を引き出す取り組みを行っています。	年間カリキュラムや週間テーマをベースにしつつも、参加する子どものその日の状態や特性に合わせて、柔軟に内容を調整・工夫し続けます。特に、今年度設けた運動コースの年間カリキュラム策定を、今年度中に実施します。子どもの「やってみたい」という意欲を大切にしたいプログラム提供を強化します。
2	【保護者との密な連携と家族支援】	日々の送迎時やレッスンのフィードバック（FB）、定期的な面談を通じて、子どもの発達状況や課題について共通理解を深めています。また、家族参加型イベントやきょうだい児も参加できるイベントを開催し、家族全体への支援や交流の機会を提供しています。	事業所での様子を伝えるだけでなく、家庭での様子や保護者の悩みをより丁寧にヒアリングし、個別支援計画へ反映させます。イベント等を通じ、保護者同士の交流や安心感の醸成にも引き続き努めます。
3	【共有の質の向上】	保護者の方からの「より情報連携を抜き取りなく、密にしたい」というお声をいただき、毎日、朝礼と終礼を実施し、支援前後の情報共有を徹底しています。支援内容や役割分担の確認だけでなく、終了後の振り返り（ヒヤリハット含む）を行うことで、職員全員が子どもの状況を把握し、チームとして連携した支援ができる体制を整えています。	単なる事実確認にとどまらず、子どもの行動背景の分析や、より良い支援アプローチの検討など、共有の質をさらに高めていきます。また、日誌や記録への反映を通じて、長期的な視点での振り返りにも繋げていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	【環境設定の工夫と運用ルールの徹底】	教室の構造上、完全に独立した個室（カームダウンスペース）を常設することが物理的に難しい状況です。現在は、パーテーションで区切る、または職員同席のもと別室（相談室等）を使用する等の対応にとどまっています。	物理的な増設は困難ですが、パーテーションの配置工夫や、クールダウンが必要な際の具体的な対応手順（空き部屋の即時利用等）を全職員で再確認し、子どもが安心して気持ちを切り替えられる環境づくりに努めます。
2	【安全計画に基づく研修・訓練の完全実施】	安全計画自体は作成・公表されていますが、計画に盛り込まれた全ての研修や訓練が、年度内に十分に履行できていない、または全職員への浸透が完了していない部分があります。	年度内に予定されている未実施の研修・訓練を確実に実行します。また、実施して終わりではなく、訓練での気づきをマニュアル修正や日々の安全管理手順にフィードバックし、職員全員が有事の際に的確に動けるよう実効性を高めます。
3	【地域交流・地域への開かれた事業運営】	一部で地域の飲食店を利用したイベント等は行っているものの、近隣住民を招いた行事や、近隣の保育所・幼稚園等との日常的な交流機会は少なく、「機会がない」「ニーズが弱い」と感じている現状があります。	大規模な交流が難しくとも、地域行事への参加や、事業所情報の地域への発信（広報等）を継続します。また、関係機関との連携を強化し、地域の中で子どもたちが活動できる機会を少しずつ増やしていけるよう検討します。